

あそびまつりだより NO.6

2018. 9. 27

頌栄幼稚園

大玉遊び(年長組)

昨年のおそびまつりでも大玉競技をした子ども達。大玉を使って遊びたいということで、早速外に出て始めました。子ども達が考えた遊びは大玉サッカー。しかし、蹴ることはできないので押し合ってサッカーゴールに入れることになりました。しかし、すぐに遊びは始まりません。最初に時間がかかったのは紅白のチーム分けです。二人組でグッパをして分かれまじました。「グーの人こっち！パーの人こっち！」声はかけていますが、なかなか集まることできません。やっと集まったけれど、明らかに紅白の人数が違う???。そんなことは気にする事なく始まりまじました・・・。

1回目 紅白の大玉2つを使いサッカーゴールに入れます。



大玉が2つあるので、すぐにゴールに入ってしまう。入らないように止める子もいるけれど、大人数に押されて負けてしまいます。そこで、どうしたらいいのか考えまじました。

2回目 本当のサッカーのように大玉を一つにまじました。これで上手いくなかな？そんなに甘くはありませんでした。今度は大玉が一つになったので押し合いになって真ん中から大玉が動きまじせん。ずっと止まっているのだから全然楽しくありません。

3回目 人数が多すぎるということで4人組することになりました。遊び方も変わり、ゲームボックスの上に大玉を乗せて運びまじす。「アイスクリームみたい。」とやる前から楽しそうです。しかし、4人組を作ることがなかなかできません。声をかけて何とか4人組を作ろうとしている子、2人組でもそのままで座っている子・・・時間だけが過ぎていきます。

①「今日はもうできないね。」②「えー。」「やる気あるのに。」

③「やる気ある人手あげて。」と何故か多数決をとる子ども達。けれど何をしても今日は時間が来たのだからもう終わりです。残念！



4回目 さあ、今日はできるでしょうか？

子ども達も今日こそはと思っているので、ゴタゴタしながらも何とか遊びを始める準備ができました。やっと始まりまじましたが、始まってからも審判から何度もストップがかかります。持ち上げて運ぶというルールでしたが、早く運びたいからとひきずったり大玉を転がしたりするチームがありました。何度もルール違反をするので、さすがに審判も怒り、「今度したらもうおしまいにしてもらおうからね。」と一言。それぐらいの気持ちで審判をしているんです。すごいです！



一つの遊びを考えるのに何度も失敗し、また考えて・・・が繰り返されます。昨日より少し早く集まされた、友だちと一緒に取り組む姿が見られるなど本当に少しずつの変化が教師にとっては何よりも嬉しいのです。一步一步ですね。

